校内研修計画

甲州市立塩山南小学校

１．研究主題

「自ら課題を見つけ，自ら解決しようとする児童の育成（２年次）」

～個別最適な学びと協働的な学びの一体化を通して～

２．主題設定の理由

社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0時代」の到来し，先行き不透明な「予測困難な時代」のなかで，学習指導要領の着実な実施とICT端末の日常的な活用により一人一人の児童生徒が，自分のよさや可能性を認識するとともに，あらゆる他者を価値のある存在として尊重し，多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え，豊かな人生を切り拓き，持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められている。変化の激しい社会を生き抜いていくため，生涯にわたって学び続けための，「自ら課題を見つけ，自ら解決しようとする児童の育成」を目指していきたい。

本校は昨年度，文部科学省事業「リーディングDXスクール」指定校として，「自ら課題を見つけ，自ら解決しようとする児童の育成～思考スキルを活用し，個別最適な学びと協働的な学びの日常化を通して～（１年次）」の研究主題のもと，研究を進めてきた。昨年度の成果として，「全校で統一して探求プロセスと南小思考スキルを授業内に取り組み，一人ひとりが次の活動を意識して取り組むことができ，子どもも自ら学びにいこうという気持ちが徐々に向上しつつあり，自分でどのように学んだらよいか選択・決定する力がついてきている。」「学習者主体の学習形態となり，児童自ら情報収集して，整理分析するときに思考スキルを活用する姿が見られるようになってきた。」等が挙げられ，探究サイクルと思考スキル・ツールを活用した授業改善を図ることで，子ども主体の学習に迫ることができたといえる。一方，課題としては，「探究サイクルを意識した単元構成やカリキュラムマネジメント」や「個別最適な学びの授業のデザイン」「教科の「見方・考え方」の働かせ方」「学びやすい環境づくり（いつでも，どこでも，だれとでも学べる環境や関係づくり）」が挙げられる。昨年度の研究の課題を受け，個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図り，「自ら課題を見つけ，自ら課題を解決しようとする」児童の育成を目指し，授業改善していくことが求められている。

問題解決的な学習の探究プロセスの質を向上させることによって，児童の問題解決的な力を高めていくことを目指していく。具体的には，これまで継続して取り組んできた「南小思考スキル」と各教科等の特質に応じた「見方・考え方」と，学び方としての「見方・考え方」（南小思考スキル）を身に付けさせることによって，各教科等で身に付けさせたい資質・能力の向上につなげていく。また，子どもたちが学習の見通しをもつことができる授業・単元設計を目指し，子ども自ら学びを自己選択・決定していく力をつけさせていきたい。その学びが実現できるような「子どもが学びやすい環境づくり」にも取り組み，自ら課題を見つけ，自ら解決しようとする児童の育成を目指していきたいと考え，本研究主題を設定した。

３．研究の具体的内容と方法

**（１）研究内容**

①子ども主体の授業づくり～個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実～

②「個別最適な学び」を支える「協働的な学び」を実現させるための環境づくり

**（２）具体的な内容と方法**

①「子ども主体の授業づくり～個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実～」について研究する

（ア）探究的なサイクルで，知識を構造化し深い学びへつなぐ

* 「探究サイクル」×「南小思考スキル及び見方・考え方（適切な観点を決めて考える）」
* （活動の道筋をつける力）　　　　（思考の道筋を編み出す力）
* 「整理・分析」の学習過程において，知識を関連付けたり，情報を精査したりして自分の考えを形成していくための手立て（自分らしい整理・分析，知識の構造化）
* 見方・考え方を働かせるための手立て
* クラウド環境の積極的活用（他者参照と自己のモニタリングなど）

（イ）子ども自ら学びをデザインしていくための課題設定と単元設計

* 子どもたちが学習の見通しをもつことができる授業・単元設計（単元を核とした授業づくり）
* 追究しがいのある課題設定
* 学びを自己選択・自己決定していくための取組（仕掛けづくり）
* 子ども主体の学びを支える教師の役割

②「個別最適な学び」を支える「協働的な学び」を実現させるための環境づくり

* 協働的な学びの土台である非認知能力の育成のため，WEBQU調査を実施し，教職員全体で具体的な解決策や対応策などを検討・実施し，親和的な学級集団づくり
* 子どもが学びやすい学習環境づくり（いつでも，どこでも，だれとでも学べる場所づくり）
* 情報活用能力向上の取組

４．研究計画　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　研究主任　池田　理恵子

|  |  |
| --- | --- |
| 実施時期 | 研究内容 |
| 令和六年度 | １学期 | * 研究課題，研究内容，研究組織，研究計画の検討（４月）

「研究概要と全体計画」「学力向上・南小スタンダードの取組」「Teacher’s Noteの取組」* ４月17日（水）校　那須指導主事を招聘しての学習会
* 4月24日（水）甲州市による「Figjamを操作しながら子供主体の授業へつなげる実践的研修会」への参加
* 5月15日（水）塩山中学区ブロック研（塩山北小学校の授業公開＆分科会への参加）
* 5月１７日（金）甲州市「夢をかなえる学び」のプロジェクト　「学級づくりにかかわる教育講演会」
* 5月２２日（水）「個別最適な学びと協働的な学びについて」の学習会

講師：学校DX戦略アドバイザー　三井　一希先生（山梨大学）* WEBQU調査1回目実施→ブロックごとにWQEBQUの分析及び対応策の検討
* 6月19日（水）学校DX戦略アドバイザーによる授業参観と指導助言（1回目）
* 6月２８日（金）甲州市「夢をかなえる学び」のプロジェクト　「学級づくりにかかわる教育講演会」
* 全国学力・学習状況調査・県学力把握調査の分析（6月～８月）
 |
|  | * 一人一実践の確認と2学期の研究の方向性を確認

夏休み中* 全国学力・学習状況調査・県学力把握調査の分析（6月～8月）
 |
| ２学期 | * 「自ら課題を見つけ，自ら解決しようとする児童の育成」に迫る授業実践（一人一実践）（９月～１２月）
* 9月25日（水）学校DX戦略アドバイザーによる授業参観と指導助言（2回目）
* 研究授業のための指導案検討（9月～1０月）
* WEBQU2回目実施→ブロックごとにWQEBQUの分析及び対応策の検討
* 10月23日（水）甲州市「夢をかなえる学び」のプロジェクト　「学級づくりにかかわる教育講演会」
* 10月３０日（水）公開授業研究会（指導主事・学校DX戦略アドバイザーを招聘しての指導・助言）
* １２月６日（金）甲州市「夢をかなえる学び」のプロジェクト　「保護者・地域との連携にかかわる教育講演会」
 |
| ３学期 | * 各教科の年間指導計画・単元計画の確認・見直し
* 2月26日（水）学校DX戦略アドバイザーを招聘しての学習会（来年度の方向性）
* 研究のまとめ・成果と課題の把握・来年度に向けて
 |